

水稲用初・中期一発処理除草剤

ゼータプラス®

ジャンボ

雑草へ、
猛突進。

オモダカ
クログワイ コウキヤガラ



本剤は(公財)日本植物調節剤研究協会での
A1S区分:難防除雑草一発処理(オモダカ・ク
ログワイ・コウキヤガラ)で判定を取得しています。



エフィーダ® 配合
問題雑草に広く効く!!

2
成分

ノビエ
4
葉期



ノビエ



ホタルイ



クログワイ



オモダカ



コナギ



イボクサ



ミズアオイ

水稲用初・中期一発処理除草剤

有効成分 フェンキノトリオン…15.0%
プロピリスルフロ… 4.5%
除草剤分類 27,2

ゼータプラス[®]ジャンボ

- ◆ 2成分の一発処理除草剤（フェンキノトリオン、プロピリスルフロ）
- ◆ 高葉齢のノビエ（4葉期）を始めSU抵抗性雑草に優れた効果
- ◆ 多年生難防除雑草オモダカ、クログワイ、コウキヤガラに高い効果



適用と使用方法

2024年3月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草、 エゾノサヤヌカグサ	移植後3日～ ノビエ4葉期 ただし、 移植後30日まで			水口施用又は 水田に 小包装(バック)の まま投げ入れる
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ4葉期 ただし、 収穫75日前まで	小包装(バック) 10個 (200g)/10a	1回	水田に 小包装(バック) のまま 投げ入れる
フェンキノトリオンを含む農薬の総使用回数			プロピリスルフロを含む農薬の総使用回数		
2回以内			2回以内		

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ	
ヘラオモダカ	
ミズガヤツリ	草丈25cm以下まで
ヒルムシロ	発生盛期まで
セリ	再生期まで
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
オモダカ	発生前からヘラ葉期まで
クログワイ	発生前から 草丈15cm以下まで
コウキヤガラ	発生始期から 草丈35cm以下まで
シズイ	草丈3cm以下まで



本剤は(公財)日本植物調節剤研究協会でのA-1S区分: 難防除雑草一発処理(オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ)で判定を取得しています。

上手な使い方

均平化作業・植付けはていねいに!

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。

移植深度は適正に!

極端な浅植では根が露出し葉害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。

散布時の注意!

- 水深5～6cmで散布。
- 藻類、浮草が発生する前に散布。
- 「濡れた手」で扱わない。
- バックを破らずに投げ入れる。

散布後の注意!

散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。

使用上の注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの4葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するようにしてください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるよう、代かき、均平化および植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 本剤は小包装(バック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態(3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 藻や浮き草が多発生している水田では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 以下のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - 軟弱な苗を移植した水田。
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田。
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 暑い多雨条件では除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 散布田の田面水を他の作物に湛水しないで行ってください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 濡れた手で触らないでください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
 - 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
- 吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を強く閉じて保管してください。
- 袋の中身のバックは強く圧するとフィルムが破れるおそれがあるので注意してください。

●使用時にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

06R3C24Z41:ZS

2024年3月作成

農薬・肥料に関する
総合情報サイト【i-農力】や
各種SNSはこちら



〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

お客様相談室 0570-058-669

(または ☎03-6630-3322)